

<p>※注意※ この台本は鑑賞用です。 無断配布、無断転載禁止。 この台本を使い、音声作品を作るとは 有償無償問わず固く禁じます。 基本的に声優さんにお渡ししたままの状態の台本です。 制作の都合上、削除した箇所や言い回しが異なる箇所など 微妙な違いがあるかもしれません。 右側の欄は演技指示や行動内容、心情などを書いています。 音声と一緒に楽しみいただければ幸いです。</p> <p>ん… あれ？ここは…どこだ？ お前も起きてたのか おい…お前、ここがどこか知ってるか？ 学校からお前と帰って、そこから記憶が無いんだが 知らない…よな そうだよな</p> <p>扉も窓も無い、真っ白い部屋…スタジオか？ スタジオにしては狭いし、六畳くらいしかないよなあ それに部屋には机しか置いてないし…</p> <p>ん、机の上になにか置いてあるな 手紙か なになに</p> <p>「横に置いてある小瓶の中身を全て飲んでください」 「全て飲まなければこの部屋から出られません」…？</p> <p>小瓶ってこれのことか？ いち、に、さん…全部で 10 本、と</p> <p>そういえば、童話でもあったな ドリンクミーって書いてあるビンの中身を飲むと、 体が小さくなって…っていうやつが</p> <p>さて この中身は何だろうな？ まあ、一番考えられるのは毒薬だろうな はたまた童話みたく体の大きさが変わる物か ただ 10 本あるのが謎なんだよな</p> <p>毒薬だった場合、あいつに飲ませるのはまずいだろう ただでさえあいつはあまり体が強くないのだから</p> <p>相談してみてどちらが飲む飲まないで言い合うのもしょうにあわない とりあえず一本飲んでみるとするか</p>	<p>★幼なじみ(聞き手)と謎 の部屋で気を失ってい たところからスタート ★目覚める ★目覚めたてなので ゆっくり</p> <p>★少し動揺している</p> <p>★辺りを見回し部屋の様 子を探る</p> <p>★机に置いてあった手 紙を手取る</p> <p>★淡々と手紙を読み上 げる</p> <p>★少しゆっくりめに数を 数える</p> <p>★心の声スタート ★冷静に考察</p> <p>★疑いながら</p> <p>★小瓶の蓋を開け、中 身を口の中に入れる</p>
--	---

ん、なんだこれ 栄養ドリンクか？ 甘いのに微妙にエグい味が…
中身は高麗人参、ガラナ、マカ…ってところか？
もしかしてこれは…、精力剤？

…って、精力剤？！ これは媚薬の可能性があるので？！

あ、ああ、多分大丈夫 なんともない

媚薬なんてももの、こいつに飲ませるわけにはいかねええ！
飲まれないうちに全部飲まねば！

フー… これでよし
ってなんだよ、その目は 大丈夫に決まってるだろ
飲んだら即死ぬようなものが入ってるとは到底思えない
それに、お前にもしなにかあったら…いい、いや、なんでもない

フー…
ん…大丈夫、大丈夫だから 気にするな
しかし、この部屋暑いな お前は平気か？

全て飲まなければこの部屋から出られません、
とか書いておいて未だになにかが起こる心配が無いんだが、
どうということなんだ？

★味を見つつ飲む
★あまり美味しくない
★中身を探るように、
ゆっくりと言う
高麗人参(こうらいにんじん)
★自分の考えに驚き、慌てる

★心の声終わり

★冷静を装うものの、動揺を隠しきれない

★心の声スタート
普段冷静に喋っている時とは打って変わり、荒ぶっている感じ
★心の声終わり
★10 本一気に飲む

★「よく分からないものを一気に全部飲んで大丈夫だったの？」の返答。
★ツンデレっぽく

★10 分程経過する

★薬が少し回ってくる
★少し熱っぽい感じ

全く、ここに俺たちを閉じ込めたやつは一体何を考えているんだか
俺とお前に恨みでもあるやつなのか？ それにしたって理解不能だ
こんなところとっとと出て、さっさと家に帰って寝た…い？

あ…れ…なんで…俺…倒れて…？
やば…頭が…回らない…
体に…力が…入ら…

だいじょ…大丈夫だから…
心配するな 毒薬ではなかった
毒薬、ではなかったんだが…多分、その…
媚薬…だったみたいだ
だから、その、あまり俺に近づかないでくれ

び、媚薬について知らないとか言わないよな？ まさか
は一… 媚薬っていうのは性欲を増進させる薬のことだ
そんなことも知らないとかお前は本当に子供みたいだな

怒るな怒るな…
ただでさえ薬が回っているのに、余計に悪化しそうだ

あ、あんまりこっちを見るなよな
その、媚薬が効いているのか…勝手に反応…してるんだよ

わ、分かっているんだったらいい 気にするな
俺を見ずにいてくれればそれでいいから

と、扉が…開いた…？ 最初こんな扉無かったような…
まあそんなことはどうでもいいか よかった、これで家に帰れるぞ

★呆れて
★「さっさと〜」から様子
がおかしいことに気が付く

★倒れる

★薬がどんどん回ってくる
ここから若干吐息混じりに
ややゆっくりめの言い方に
(オーバーな表現にならないようにお願いします)
★「大丈夫？！」の返答

★言いよどむ
★言いにくそうに、ゆっくりと、歯切れが悪く

(間)

★「媚薬って何？」の返答
呆れつつ

★「こ、子供じゃないもん！」の返答

★勃起している

★「反応って？」の返答

★扉が開く SE

★安堵

	★吐息混じり終了
	★扉の向こう側に行く
ま、また部屋…？マジかよ	
布団が一組置かれるけど…さっきの部屋には無かったよな？ …ん？また手紙が置いてあるな	
「10回射精してください。10回射精しなければこの部屋から出られませ…ん？」 は、はあああ？！何だよそれ！ ん、んん と、とりあえず続き、読むぞ	★布団の上に手紙が置いてあるのを見つける
「冷蔵庫には小瓶と軽食があります、どうぞ自由にお召し上がりください」	★怒る ★「ん、んん」は咳払い
コンビニ弁当と、惣菜、飲み物は一…小瓶だけか 小瓶はまた10本、と はああ…	★動揺を抑えて冷静に読み上げる
何が盛られているか分かったものじゃないし、 安易に冷蔵庫の中の物を口にするなよ？	★冷蔵庫を開ける SE ★「はああ…」は溜息
…さて、どうしたものか しゃ、射精、しかも10回も… ま、まさかとは思いが、お前、射精くらいは知ってるよな	
あ、あからさまに顔を赤らめるな！ お、俺だって付き合ってもいない幼なじみのお前と、セ、セ、セックスなんてしたいわけないだろう！	★ツンデレっぽく
う…騒いだら媚薬が回ったみたいだ… 言っておくけど、お前とセックスはしない、からな お前だって、俺となんかとセックスしたいわけでもないだろうし	★布団に倒れる
それに…射精しないと出られないということは、射精をすれば方法は別に何だっていいんだよな？	ここからやや吐息混じりに
俺はこの部屋で一人で…お、オナニーして、射精してるから、さっきの部屋に戻って耳ふさいでろ	

<p>って扉、消えてる？ 嘘だろ…</p> <p>あああ！クソ！ 布団でもかぶって耳をふさいでろ！ クソ、クソ、クソ！なんで俺がこんな目にあわなきゃいけないんだ…！</p> <p>こっちは媚薬のせいでオナニーしたくてしょうがないのに、あいつだけ平然としてやがって…！ いやあいつがド淫乱になっても困るが！</p> <p>ん…う… 媚薬のせいか…いつもするより…気持ち…いい …ふ…んっ……ん……ん…っ オカズも何も無くてもここまで気持ちいいなんて…クソッ ん、んんっっ…っ うっ…っ</p> <p>もう、出た… あいつが近くにいるっていうのに、俺ってやつは…</p> <p>これで4回…か 媚薬のおかげか、何度射精しても尽きそうにないのはいいんだが、 流石になにも見も聴きもしない状態でオナニーするのは飽きてきた</p> <p>あいつが脱いで、胸でも見せてくれれば… いやいやいや！なんっつーこと考えてるんだ、俺！ でも、この状態であと6回射精できる気がしない…</p> <p>お、おい お前、ちょっと お願いがあるんだが… この部屋から出たら絶対に忘れるから、その、む、胸を…見せてくれないか</p> <p>そ、その、一人で黙々とオナニーして、10回も射精するのは難しい…</p> <p>お、俺だって、普段からお前の胸なんて見たいって思ってたんじゃない！ た、ただ、この部屋から出るためには仕方がないことなんだ、うん</p>	<p>★前にいた部屋の扉が消えていることに気が付く</p> <p>★布団を投げつける</p> <p>★吐息混じり終了</p> <p>★心の声開始</p> <p>★自分の手でしごき始める</p> <p>★射精 SE</p> <p>★呆れつつ</p> <p>★射精 SE 3回 ティッシュを取る音 1回</p> <p>★若干の疲労感</p> <p>★ふと考えつく</p> <p>★…も、我に返る</p> <p>★心の声終了</p> <p>★歯切れ悪く</p> <p>★ツンデレ</p>
---	--

<p>ん…っ！！</p> <p>悪い ちょっと見させてもらう… お、お前は、俺がオナニーしてるところを見なくていいからな！</p> <p>し、しかし、見ない間に大きくなったんだな 小さい頃プールに行った時なんてふくらみのかけらも無かったのに</p> <p>今じゃそんな、大きくて、柔らかそうで… し、しょうがないだろ、お、俺だって男なんだから、女の胸くらい、き、興味を持つ</p> <p>ん…っんん…っ</p> <p>これで射精は5回目か…ようやく…折り返し地点だな</p> <p>ってうわあ？！ちょ、ちょっとお前、何して！む、胸！俺の顔に当たってるから！</p> <p>お前は手伝わなくていいんだよっ！さ、触るな！</p> <p>私でもこれくらいできるって…、そんなバカなこと言…んっ、あ…っあっやめ…っ んっ ああっ あっ… あああ… くそ…っお前がその気なら…っ んっ 俺だって…っ</p> <p>ちゅっ ちゅっ ちゅうううっ お前の乳首…っ吸ってやるんだからな…！んっ…ふ…っ ちゅっ ちゅっ ちゅうううっ ちゅっ んっ ふ…っふっ…ふ…っ ちゅっ</p>	<p>★自分にも言い聞かせるように</p> <p>★ヒロイン、胸をはだけさせる ★刺激が強すぎて驚く</p> <p>★ヒロインの胸を見ながらしごき始める</p> <p>★射精</p> <p>★ヒロイン、主人公の顔を自分の胸に寄せる</p> <p>★ヒロイン、主人公のペニスをしごき始める</p> <p>★ヒロインの乳首を吸い始める</p>
--	---

んんんううっ！
っうっ 出た…出たからちょっと、休ませ…っんんっ？！

★射精 SE

★しごき続けるヒロイン

やめっ…！やめ…ろっ…んんっ！やめろって言って、あっあああっ！

な、なんでお前目がすわってるんだよ？！ち、乳首くらい吸ったくらいで怒るなよな！

★しごき方を変えるヒロイン

あああっ、あ…っやめろ、やめろって…！！
そうやって、緩急つけて、しごくなっ…てえっ！

あっ、あ…ああっ、あああっ！

★射精 SE

ふー…ふー…っふー——っ…っ

★息を整える

お、お前、顔に精液付いてるぞ…
や、やめろって言ったのに、お前がやめないから
お前のせいだからな、お、俺は悪くない

★ちょっと偉そうに

これであと3回…か も、もうお前は手伝わなくていいからな

★冷蔵庫を開ける音
★ヒロイン 媚薬を飲む

おい、お前…なんで媚薬を飲んで…！？正気か？！
こ、こんなこと、俺だけがしてればいいんだよ、お前が責任を感じる必要なんてないんだよ！

★ヒロイン 下着を脱ぐ

やめろ 俺はお前に同じような目にあってほしいわけじゃない
それにお前がなにかしたってカウントされないんだから、無意味だ

★慌てながら、まくしたてるように諭す

な、なんだよ お前にしごかれながら、お前のこ、股間を見て、興奮しろってことか？

違う？じゃあ、なんだって… え？手を出せ？

つつっ！！ちょっ、ちょっ！！お前、自分のしていることが分かっているのか？！

あ、あ、指、お前の性器の外側、ふれ…触れて…！

あ、あったかい… 中ってこんなに熱くなってるんだな…
こんな…とろとろで…ぐちゅぐちゅで…

はっ も、もう知らないからな こんなことしてただで済むと思うなよ

…つか、何で経験も無い俺がこんなことしなくちゃいけないんだ…
コイツだって、経験が豊富ってわけでもないだろうし
あークソ…漫画とか AV とかの知識しかないのにぶっつけ本番でこんなことするはめになるとか…不本意すぎる…
もっとちゃんと勉強してからだな…

…あ、いやなんでもない、こっちの話だ気にするな

…フッ お前も媚薬が回ってきたみたいだな
いつも真面目そうにしてる顔がとろけてるぞ

ついたたっ そこはもうちょっと優しく扱ってくれ
調子に乗った俺も悪かったが…

★ヒロイン 主人公のペニスをしごき始める
★ヒロイン 首を横に振る

★ヒロイン 主人公の手を持ち、自分の性器の場所まで引き寄せる

★主人公の指にヒロインの性器に触れる
★水音

★ヒロインの性器に主人公の指が徐々に入っていく

★我に戻る

★独り言

★独り言終了

★主人公、ヒロインに手マン

★ヒロイン、主人公のペニスをやや強めに握る

痛かったらちゃんと言えよ？

こうして…こうか？

(興奮してる感じの熱っぽい呼吸音 10 秒)

…もしかして、お前って普段オナニーしてるのか？
想像してたよりスムーズに指を出し入れできたから…その…
わざわざ聞くまでもない、か…

コツ掴んできた気がする 多分…
お前も、段々しごくの上手になってる

だってほら、お前の手止まってる
俺の指、気持ちいい…のか？

そうだ、ちょっと待ってろ

この媚薬、結構とろみがあるから、ローションがわりになると思うんだ

あ、悪い…冷たかったか
あたためるから、もう一度ここに指…入れるぞ

反応、良くなったな ぎゅって指を締め付けてきた…
イきそうになったら、俺のことは気にせずいつでもイってくれ

んっ…お前も俺のことをイかせようとしてるのか？
…忘れてた、本来の目的は俺の射精回数だったもんな
お前のここをいじるのに夢中になってすっかり忘れー…
んんっ

★ヒロイン、ペニスをしごき始める

★主人公、指を動かす

★主人公、黙々と指を動かす

★息が荒い感じにならないように

★主人公、ヒロインの性器から指を引き抜く

★冷蔵庫から媚薬を持ってくる

★媚薬をヒロインの股間に垂らす

★主人公、ヒロインの性器に指を挿入する

★ヒロインも主人公のペニスをしごき始める

<p>ほら、ほら…イけっ</p> <p>んっん…んん…っ んうっ</p> <p>あ…イク……イク…ッ お前も…っいきそうなのか？ じゃあ、一緒に…イこう？</p> <p>うぁ…あっ…あ…やば…っ射精…止まらない…っ</p> <p>んっんうう！</p> <p>ふ…ふ…ふー…</p> <p>これで 10 回… ようやく終わった…か…</p> <p>ほ、ほら、服着ろよ お前だって好きで脱いだわけじゃないだろ？</p> <p>何今更照れてるんだよ …俺だって恥ずかしかったよ</p> <p>また扉が… 一体どういう仕組なんだ？これ</p> <p>別の部屋に移動すると前の部屋に行く扉が消えるということは、この部屋も出たら戻って来れないんだろ？</p> <p>冷蔵庫の物、念の為食べておくか あの扉も出口じゃなくて、また次に部屋があるかもしれないし、食べ物 の調達はここで最後かもしれない 餓死してしまっは元も子もないからな 残った小瓶は持っていこう 貴重な水分だ …積極的に飲みたいとは思わないけれど</p>	<p>★「んんっ」は咳払い</p> <p>★誤魔化しながらヒロインに手マン</p> <p>★ヒロインも負けじと手コキ</p> <p>★射精</p> <p>★射精 SE3 回</p> <p>★ヒロイン服を着る</p> <p>★扉が開く音</p>
--	---

<p>…悪かった いくら媚薬が効いていたからっていって酷い真似をしてこの部屋から出たら、お互い今日のことは忘れよう 今まで通り、普通の幼馴染のままでいような</p> <p>流石に…ちょっと疲れたな ご飯を食べたら…眠気が… お前もちょっとは寝ておけ…よ…</p> <p>(寝息 10 秒くらい)</p> <p>ん… 夢オチを期待してたんだが、夢じゃなかったか 時計が無いから、どのくらい寝たのかも分からないしで</p> <p>そろそろ先に進むか この扉の先が出口だといいんだが</p> <p>はあ…だよなあ… また部屋…か</p> <p>というか今までの部屋と違って内装豪華だな 天蓋付きのベッドなんて初めて見た ピンクのライトは趣味が悪いとは思うが、この際どうでもいいな</p> <p>「3 回中出しをしてください、3 回中出しをしなければこの部屋から出られません」 「避妊用の薬は机の上に、媚薬は冷蔵庫の中にあります」…と</p> <p>…フーーーーー… お前、キョトンとしてるけど、中出しが何か分かってるのか？ 分かった上で天然ぶってるのか知らないけどさ…</p> <p>とうとう…その、お前とセックスしなきゃいけないってことだ</p> <p>こ、こればかりは俺一人だけじゃどうしようもできないというか、お前にも手伝ってもらわなきゃいけないというか いや今まで散々お前に手伝ってもらってきたんだが！ その…恋人でもない、ただの幼馴染とセックスするのは俺の信条的にも反するというかなんていうかそのー！</p> <p>んんっ？！んむっ…んっんっ… ふはっ</p>	<p>(間)</p> <p>★ご飯を食べている最中に話している</p> <p>★主人公眠気に襲われ横になる</p> <p>★二人共眠る</p> <p>★起床</p> <p>★扉を開ける</p> <p>★ラブホテルのような部屋</p> <p>★手紙を見つける</p> <p>★めちゃくちゃ動揺し、若干早口に</p>
--	--

<p>何す…っ！ つんつんうつ、ん…んっん…んんん～っ！ ふはっ…っ</p> <p>ど、どういうつもりだよ…！ 媚薬の飲みすぎで頭がおかしくなったのか…？</p> <p>…いいい、言っておくけど、好きでもない人間と無理してセックスする必要なんてないからな、きっと打開策が他にあるはずだ</p> <p>だから冷静にな…んっ…！？ んう…っんっ…んっ…っんっ… ふぁ…</p> <p>んっちゅ…つれる…っちゅっ…ちゅっ… ふはっ</p> <p>はー…はー…はー… な、何度もキ、キスして、一体どういうつもりだよ…！</p> <p>この部屋は何度キスしたって出られるわけじゃないんだぞ</p> <p>いや、まさか、まさかな…？</p> <p>も、もしかして…お前、俺のことが好き、とかなんてことは、そんなことはない…だろ？</p> <p>は……え……？</p> <p>も、もう一度言ってくれ、頼む</p> <p>い、いやもうキスはいいから！</p> <p>…お前の気持ちは分かった、お、お前は、俺の事がす、好き…なんだな…？ 本当に本当なんだな？</p> <p>そ、それなら実に合理的だな！ 両想いってことじゃないか！</p> <p>セックスをしても何の問題もないな！ ははは！ は…は…</p> <p>(軽く深呼吸)</p> <p>お、俺も！ お前のことが…その、好き…だ</p> <p>こんな変な部屋に閉じ込められて、流されるまま、ただの幼馴染のまま、お前とセックスなんてしたくない…から…その…ちゃんと気持ちを伝えられて、良かった</p> <p>この部屋に閉じ込められたからセックスするんじゃなくて、好きだから、…その…したい</p>	<p>★ヒロインキス</p> <p>★ヒロイン、もう一度無理矢理キス</p> <p>★照れ半分、心配半分</p> <p>★ヒロイン、もう一度主人公にキス</p> <p>★ディープキス</p> <p>★ヒロイン「好き」</p> <p>★ヒロイン、顔を近づける</p> <p>★照れを誤魔化しながらも隠れてない感じ</p>
---	---

<p>…うん…好き、だから…うん…</p>	<p>★自分の言った言葉を反芻するように</p>
<p>今度は…俺からキスしても、いいか？</p>	
<p>目はつぶってる、恥ずかしい、から</p>	<p>★ぶっきらぼうに照れつつ</p>
<p>ちゅっ</p>	<p>★軽いキス</p>
<p>じゃ、じゃあ…ベッドに行こう…か</p>	<p>★媚薬と薬を飲むヒロイン</p>
	<p>★二人、服を脱いでベッドに</p>
<p>俺、経験無いから、上手くできるか分からないけど…、その…うん…</p>	
<p>優しくする、から…</p>	<p>★抱きしめて耳元で囁く感じで</p>
<p>お前の体…肌…柔らかい… 心臓、すごくドキドキしてるし、お前も緊張してるんだな…</p>	<p>★主人公、ヒロインの体、胸に触る</p>
<p>じゃあ、入れるぞ…</p>	<p>★挿入</p>
<p>ん…ん…っん……っ っはいつ…たぞ…全部…</p>	
<p>動いていく、から…、痛かったり嫌だったら言ってくれ…</p>	
<p>んっ…っは…っは…っんんんっ</p>	
<p>ふ…っんっ…っんっ…っんんっ</p>	
<p>は…っんっんん…っんっ…！ 初めてセックス、したけど…っんっ、こんなに…っ気持ちいいものなんだな…っ</p>	
<p>お前にも…っんっ気持ちよく…っなってほしい…っ</p>	

<p>んっ…ちゅっ…っちゅっ…ちゅぷっ…ちゅ…れる…っ</p> <p>は…は…っっ こんなんじゃ…あっという間に出そうになる…っっ</p> <p>んあぁっ？！そっそんな締め付けるなぁっっ！</p> <p>やめ…っやめ…！あぁっ、あっっ 出る、出る…っ出ちやう、から…！</p> <p>んっんっ んっ…んうっっ！ あ、あぁ…っ あ…、あ…</p> <p>はっ…はっ…は…っ…っんっ…</p> <p>これで一回…っ こんな気持ちいい…のをっ、あと二回もするとか…正気を保てる気がする ない…っ</p> <p>クソ…不本意だが…媚薬、飲も…</p> <p>んっんっんっ…ふはっ</p> <p>…そうだ、お前のここに、さっきみたいに媚薬を垂らしてセックスすると …気持ちいいんじゃないか</p> <p>ほら…やっぱり…っんっ…</p> <p>んっ…っさっきより締め付けてきて…っ 媚薬の効果もあるんだろうが…っ何度射精しても…っんっっ…キリが無 さそうだ…っ</p> <p>…っんんっ…んっ…はっ…んんんっ んっんっ…お前の奥…すっごく熱くて…っっ腰っ止まらない…っ</p> <p>んっ…っ…っはっ…はっ…あぁあ…っ 気持ちいい…っっ…きもち、いいい… イク…っイク、イク、イクっ</p> <p>んんんんっっ！ ん…っっは…っは…っ んっ…</p>	<p>★キス→ディープキス</p> <p>★ヒロイン、ペニスを締め 付ける</p> <p>★射精</p> <p>★ひとしきり射精し終わ る</p> <p>★媚薬を飲む</p> <p>★媚薬が効いてとろー んとしてる感じ</p> <p>★媚薬を垂らす ★挿入</p> <p>★ピストン</p> <p>★射精</p>
--	--

<p>このまま抜かずに、もう一回中に出すから…っ</p> <p>んっっ…っはっはっ…はあっっ うあ…っあっ、あっ、ああっ…</p> <p>媚薬と、お前の愛液とっ俺の精液で…っぐちゃぐちゃになっててっ…！ 頭までぐちゃぐちゃになりそうだ…！</p> <p>お前もイきそう…なのか…っ？ じゃあ…っ俺も…っ奥突いてやるからっ</p> <p>んっんっんんんっんっ んっ…ああっ、あああっあっ、あっ… イけ…っイけ…っ！イけえ…！</p> <p>あああああっっ！ あっ…ああっ、あ…っあ…………</p> <p>あ…扉が…開いた これでようやく終わった…</p> <p>ここまでの内容からして、次は出口だろう うん、きっとそうだろう、そう信じたい これ以上過激なことを俺たちに強いるなんてないはずだ、うん</p> <p>ん？真っ暗…？</p> <p>っわああああ！？ 床が、無い…？！</p> <p>おい！俺の手、しっかり握っているよ！ 絶対に、絶対に！現実に戻ってやるんだからな！</p>	<p>★ピストン</p> <p>★一回目、二回目より息が荒い感じで</p> <p>★ピストンを早める</p> <p>★ヒロイン、主人公絶頂＋射精</p> <p>★セックス終わり</p> <p>★疲れ果てて放心気味で</p> <p>★一旦休憩をしてから服を着替え、冷静になっている</p> <p>★扉を開ける</p> <p>★歩みを進める ★扉を開けると部屋には床が無く、落下していく二人</p> <p>★風が吹く音 ★主人公、ヒロインの手を握る</p>
--	--

ん……んん…？
ここは…どこだ？学校か？家か？それとも通学路か？

★目がさめる

俺にはどう目をこらしても、一番最初にいた部屋にしか見えないんだが…

★辺りを見回す

えーーーーと…

無限ループって、怖くね？